祝・木下会長 1995年度『米国EPAオゾン層保護賞』受賞



当協議会の木下正利会長が、毎年ワシントン D.C.で開催される米国EPAオゾン層保護費(第6回)の個人賞を受賞されました。 日本からは企業4件、団体1件、個人4件が晴れの受賞となりました。詳しくは、本文2頁の「受賞おめでとうございます」をご覧ください。



特集·第2回海外技術動向調査団視察報告



木下会長のEPAオゾン層保護賞受賞

受賞おめでとうございます。

米国環境保護庁(U.S.EPA)は、オグン層保護対策の活動に貢献した企業、団体および個人に対し世 撃中から選定し、その功績を称える表彰を行なって います。

毎年10月にワシントンDCで開催される「CFCおよびハロン代替品開発会議・INTERNATIONAL CFC AND HALON ALTERNATIVES CON-FERENCE」とおって、その投資式が行なわれ、本 年度は第6回となりました。

今回の日本からの受貨対象者は、企業費34件中4 株、固株賞6件中1件、個人賞33件中4件でしたが、 市協議会会長本下正利氏が個人賞の1人に選ばれま した。同氏の日本産業能件協議会でのターゲーシップと国際会議への積極的な協力が、オグン用保護対 策に大きく実施したとして国際的に認められた訳で、 かが協議会への世界的な際のの高まりの現れでもあ るといえましょう。





また、当協議会の団体会員であるクロロカーボン 脚生協会の薬田寛氏も同じく個人賞を受賞されました。 受賞誠におめてとうございます。 (IICOP 今田切 カ) 特集

第3回JICC海外技術動向調査団視察報告

EPAAMINITION (A PARTICIPATION A) TO THE CONFIDENCE OF TH

- 1. 木下会長は、1994年から4年間、ワシントンD.C.で毎年秋に行われた「オゾン層破壊物質の代替品国際会議」で 「日本の代替洗浄剤セッション」に出席し毎回開会の辞を述べられました。
- 2. 木下会長に米国環境保護庁から贈られた「オゾン層保護賞」の楯
- 3. JICC の第 2 回海外調査団 (1995 年)
- 4. JICC の第3回海外調査団 (1996年)